

# のらボーイ&のらガールの食農教育プロジェクト ～ No Food・農 Life ～

教育・研究

課外活動

ボランティア

地域交流

代表者：農学部・地域環境科学科3年 中津 祐也

## 連携先

阿見町そば打ち同好会  
ひさまつ農園  
NPO法人グラウンドワーク笠間

## 顧問教員

小松崎 将一（農学部 教授）

## 参加者

### ⑧ プロジェクト参加者

曲山 康平（農学部地域環境科学科・3年）  
生田目慶都（農学部地域環境科学科・3年）  
野口 真希（農学部生物生産科学科・3年）  
青木 拓矢（農学部生物生産科学科・3年）  
大澤 夏樹（農学部生物生産科学科・3年）  
渋谷 貴史（農学部地域環境科学科・3年）  
石井 暁（農学部地域環境科学科・3年）  
鈴木小百合（農学部資源生物科学科・3年）  
小野瀬雅俊（農学部生物生産科学科・3年）  
松島 優李（農学部資源生物科学科・3年）  
小野間智秋（農学部資源生物科学科・3年）  
谷口 祐亮（農学部地域環境科学科・3年）  
高山 健（農学部資源生物科学科・3年）  
野部 寛人（農学部生物生産科学科・3年）  
亀山 ゆう（農学部生物生産科学科・3年）  
田中 馨（農学部資源生物科学科・3年）  
小野 恭史（農学部地域環境科学科・3年）  
篠田 優香（農学部地域環境科学科・4年）  
勝村 遥（農学部地域環境科学科・4年）  
岩崎 明（農学部地域環境科学科・4年）  
山崎 恵理（農学部生物生産科学科・4年）

太田 直樹（農学部地域環境科学科・4年）  
木納 勇佑（農学部地域環境科学科・4年）  
星野 佑太（農学部資源生物科学科・M1）  
小林 佳奈（農学部地域環境科学科・2年）  
大関哲太郎（農学部地域環境科学科・2年）  
木村 公映（農学部地域環境科学科・2年）  
五十嵐瑞穂（農学部地域環境科学科・2年）  
木村 茉由（農学部地域環境科学科・2年）  
久保田智大（農学部地域環境科学科・2年）  
向井 龍太（農学部地域環境科学科・2年）  
渡邊亜由子（農学部地域環境科学科・2年）  
國分 拓也（農学部生物生産科学科・2年）  
佐々木亮輔（農学部生物生産科学科・2年）  
小林 希美（農学部生物生産科学科・2年）  
小野 渉（農学部資源生物科学科・2年）  
押田 朋起（農学部資源生物科学科・2年）  
赤石 太郎（農学部生物生産科学科・2年）

## プロジェクトの概要

全国農業産出額2位の農業県である茨城県で茨城大学農学部の学生という立場から多くの方々に農業について知って触れてもらう機会を作ると共に自分たちで農作物を作り、地域貢献のための一助となることを目的としております。

主な活動は「有休農地を使用した食育イベント、作物栽培」「調査・マーケティング活動」「外部団体との共同活動」の3つとなっております。

## プロジェクトの成果報告

### 1 有休農地を使用した食育イベント。

引き続き昨年度行った、そばの食育イベントを行いました。このイベントでは、そばの播種・収穫・そば打ちを実際に体験してもらうイベントの予定でしたが、ホームページでの募集など開催方法を多少広げましたがそばの播種・収穫イベントでは人が集まらず、開催にまで至りませんでした。そのため、そば打ちイベントでは募集方法と募集地域の拡大を図りつた結果、昨年度と比べて二倍の参加者人数での開催を行うことができました。またイベントの企画もメンバー総出で取り組み、より充実したイベントを開催することができました。イベントの際に行ったアンケートから、「また参加したい。」「その他のイベントの時も参加したい。」とのコメントをいただき、参加された方々も満足されるものことができました。



そば打ちイベントでの食育授業の様子



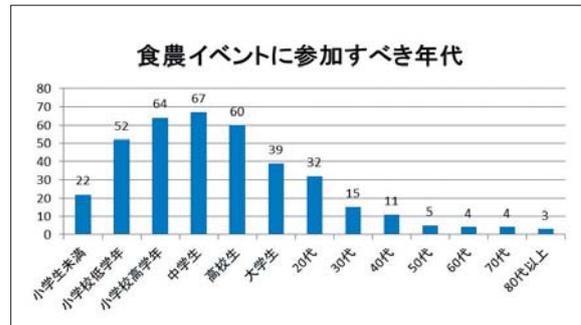
そば打ちイベントでの様子

### 2 調査・マーケティング

昨年度に引き続きアンケートによる調査を行いました。今年はイベント面での不調もあったため、食農教育についてアンケートをとり、活動の参考にさせていただきました。またマーケティングでは今年度から開拓、栽培を始めたひさまつ農園さんでお借りしている圃場でさつまいも。夏野菜の栽培を行いました。さつまいもは一トンもの収量を得ることができ、茨苑祭、鍬耕祭で販売を行いました。



茨苑祭での販売の様子



アンケートの内容（一部）

### 3 外部団体との共同活動

今年度は「グラウンドワーク笠間」さんと「農業・農村を応援するサークルネットワーク」での活動を主に行いました。グラウンドワーク笠間さんとの協同活動では笠間にてグラウンドワーク笠間さんが経営するカフェで使用する作物栽培のお手伝いや6次産業化についての会議を行い、笠間の町を元気にする

活動を一緒に行いながら、地域振興について学ばせていただいております。また今年度は日本グラウンドワーク協会結成20周年のセミナーが行われ、東京大学にて、私たちの団体がグラウンドワークと共同している大学生の代表として活動発表を行いました。農業・農村を応援するサークルネットワークでは9月に石川県の千枚田での稲刈り、南房総市でのワークショップに参加し他大学と交流し、自分たちの活動の為のよい勉強となりました。また今年は活動発表をさせていただく場を多くいただき、茨城大学県南同窓会や県北生涯学習センターなど様々な場で私たちの活動を紹介することができました。



2015年9月6日付 北陸中日新聞より



グラウンドワーク笠間での活動の様子



千枚田での他大交流の様子

### ●反省・課題

今年度は昨年度におけるメンバー内の協力や連携面の問題を解決できたが、食農教育イベントにおいて多くの問題が発生し、それらへの対応も遅れてしまいました。特に参加人数、規模、イベントの種類の多様化は来年度への大きな課題となりました。

### ●今後の展望

今年度の活動で組織体制、新規圃場での作物栽培も安定したため、来年度は新しい食農教育イベントに挑戦したいと思います。またそのためにも他団体との関わりの中からより地域に根ざしたイベントを行えるよう計画を行っていきます。